

「学校教育の重点」の策定について

京都府教育委員会では、平成23年1月に今後10年間の京都府の教育の基本理念や推進すべき施策の方向性を示した「京都府教育振興プラン～つながり、創る、京の知恵～」を策定し、平成28年1月には、施策の進捗状況、新たな課題、社会状況の変化などを踏まえ、中間見直しを行った。

本プランでは、2つの柱と10の重点目標を定め、それぞれの重点目標の達成のために40の主な施策の方向性を示している。この方向性を受け、学校や地域社会などの教育現場で、平成30年度に取り組むべき事項として、「平成30年度学校教育の重点」を策定する。

保育・学習指導の重点

教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメント

- ◆教科等横断的な視点からの教育内容の組み立て
- ◆教育活動の実施と達成状況の把握・検証改善
- ◆教育活動に必要な人的、物的な体制の充実改善

幼稚園

■教育要領の趣旨を踏まえた環境の構成や主体的な活動を通しての総合的な指導の展開

- *自然、人、社会とつながる喜びを味わえる自発的な活動としての遊びの充実
- *「聞く」「話す」「伝え合う」ことの喜びを味わえるような体験の充実
- *幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導の充実
- *「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭においた指導と小学校との円滑な接続

小学校・中学校・義務教育学校

■育成すべき資質・能力を踏まえた教育課程の具体化と創意工夫を活かした特色ある教育活動の展開

- *新学習指導要領移行措置の確実な実施
- *言語環境を整えるとともに、各教科等の特質に応じた言語活動の充実
- *外国語活動、外国語科等によるコミュニケーション能力を育成する指導の充実
- *小・中学校間で相互の学力に関する課題を十分に把握し、連携した取組を推進
- *幼児期の教育を踏まえ、義務教育9年間を見通した計画的、継続的な指導の工夫

高等学校

■新学習指導要領の実施を見据えた指導・評価の研究と、創意工夫を活かした特色ある教育活動の展開

- *中学校との接続を踏まえた基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力等の育成
- *主体的・対話的で深い学びの実現に向けた言語活動・探究活動の充実
- *指導と評価の一体化に向けた多面的・多角的な評価の推進
- *グローバル社会に対応した多様な文化の理解及び英語コミュニケーション能力を育成する指導の充実

特別支援学校

■自立と社会参加を目指し、個々の教育的ニーズに応じた指導の充実

- *新学習指導要領を踏まえた個々の実態に即した遊びや生活、作業等の実際の・具体的な指導の充実
- *個別の指導計画の作成による一人一人の具体的な指導目標や指導内容の明確化と適切な評価の推進
- *言語活動、コミュニケーション能力の育成及びキャリア教育の充実により、社会生活に役立つ学力の育成

※各校種の特別支援学級に在籍する児童生徒や通級による指導を受ける児童生徒全員について、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、効果的に活用するものとする。

※「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行にともない、すべての学校、園で合理的配慮を踏まえた指導を推進する。

平成30年度重点戦略

「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりの推進

主体的な学び

- 学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。

対話的な学び

- 子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める。

深い学び

- 習得・活用・探究という学びの過程の中で、教科等の特質に応じた見方や考え方を働かせて思考・判断・表現し、学習内容を深く理解する。

生徒指導の機能

- 児童生徒一人一人が分かる喜びや学ぶ楽しさを感じられるよう生徒指導の機能を活かす。
☆自己決定の場・自己の存在感・共感的な人間関係

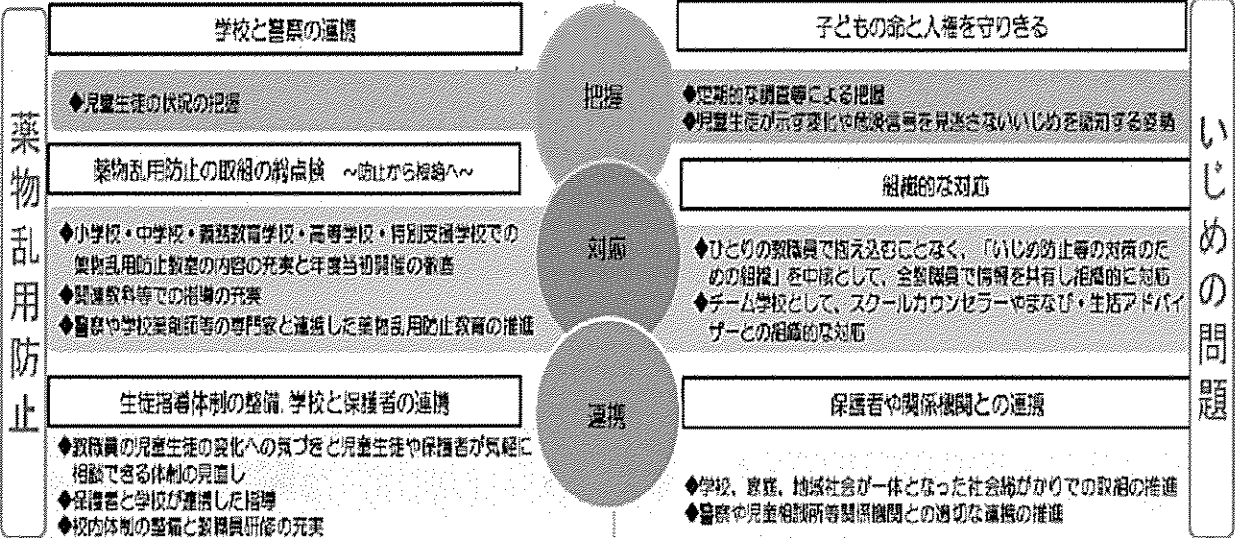
基礎・基本の定着

- 京都府学力診断テストや全国学力・学習状況調査の結果を組織的な授業改善や個別支援等に効果的に活用する。
☆学力を下支えする取組の充実
☆授業とつなぐ家庭学習の工夫（予習・復習）

一人一人の命を大切にした取組

大麻や危険ドラッグ等の薬物が、児童生徒のごく身近に迫っている深刻な状況を踏まえ、更に踏み込んだ効果的な指導の徹底及び校内外の連携を一層強化すること。

いじめは、児童生徒の生命の尊厳を第一に、適切な迅速に対処すること。



府立高校の特色化推進と府立高校全体のレベルアップ

～魅力あふれる47校の特色～

- ◆「府立高校特色化推進プラン」に基づき、府立高校47校が特色化を推進し、生徒の個性や能力を最大限に伸ばす教育の実践に取り組む。
- ◆府立高校をネットワーク化することにより、府立高校の人材や施設などの教育資源を活かして、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する。

府立高校特色化
推進プラン

グローバルネットワーク京都

グローバルな視点を持ち、国際社会に発信できる人材の育成

京都フロンティア校

学校の特色に応じた探究活動による次代を支える人材の育成
※地域連携・地域活性等をテーマとする学校を「地域創生推進校」に

スーパーサイエンスネットワーク京都

独創的な科学研究により世界をリードできる人材の育成

スペシャリストネットワーク京都

社会・経済構造の変化に対応する真の職業人(スペシャリスト)の育成

京都府教育振興プラン ～つながり、創る、京の知恵～

教育の基本理念

教育が果たすべき役割は、一人一人が自立的に社会に参画し、人権尊重を基盤として共に支え合いながら、地域社会の一員としての役割を果たすために必要な「力」を養うことです。「目指す人間像」に向けた人づくりのため、これまで「生きる力」「知徳体」として表現されていた概念を、次のように3つの「はぐくみたい力」としてより具体的にあらわし、これら3つの力の調和を大切にした教育を進めます。

温かくて厳しい、周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」こそが、安心や自信、誇りや責任感をもたらし、自ら「未来を展望し」「自然、人、社会とつながり」「挑戦し続けて」「いこう」という意欲を引き出し高めるものと考えます。

特に、困難な状況におかれた子どもは、こうした感覚を持つことが難しくなっています。すべての子どもを愛情と信頼と期待とで包み込んでいくこと、すべての子どもが「包み込まれているという感覚」を実感できるようにしていくことが、教育にかかわる者の責務のひとつであると考えます。

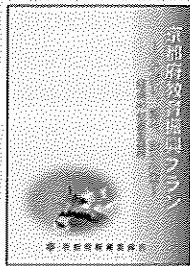
目指す人間像

◆歴史と伝統にはぐくまれた京都の知恵をつなぎ、自然、人、社会とつながる人

礼儀と規律を重んじ、人を思いやり共に助け合い、積極的に社会と関わりながら、地域ではぐくまれた文化を愛し育て、次代の京都を支える人間

◆積み重ねられた知恵を活用し、新しい価値を創り出して世界に発信する人

高い志とグローバルな視野を持って、自らの能力や可能性を最大限に伸ばし、創造力豊かにこれからの社会づくりに貢献できる人間



展望する力

夢と希望を持ち、
生涯にわたって
自ら学び自らを高め、
未来を見通し切り拓く力



つながる力

豊かな感性と情緒、
人権意識、道徳心を身に付け、
社会を担う責任を自覚し、
自然、人、社会とつながり
共生できる力

はぐくみたい力

3つの力の調和を大切にした
教育の推進

挑戦する力

自らの目標を実現するため、
失敗を恐れず挑戦し続ける、
強くしなやかな意志と、
健康でたくましく生きる力

包み込まれているという感覚

※「京都府教育振興プラン」詳しくは京都府教育委員会ホームページ(<http://www.kyoto-be.ne.jp>)へ

■表紙掲載の9枚の写真は、「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、各学校種間の連携や家庭・地域社会との連携・協働により、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、知徳体の生きる力を身に付けていく子どもたちの姿を表しています。